

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は902名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.37 0くん (平成29年3月卒・航海専攻・現31歳) 遠洋マグロ延縄漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 投縄作業 (枝縄出し、餌付け、スナップ掛け、枝縄投入、各種スタンバイ作業)。
- * 揚縄作業 (魚の取り込み、ブラン回収 (たぐり)、幹縄のもつれを解く作業、釣り針をブランに装着する作業)。
- * 帰りの航海での錆うち (チャンチャン) とペンキ塗り
- * 移動の時にブリッジで当直 (午前と午後に各2時間) を2名で行う。

Q. 大変なことは？

- * 寝る時間が少ないこと。投縄当番の日は、1日3時間と少ない。
- * 重労働が非常に多い。バスケット (50~60kg) を肩の高さまで持ち上げる作業をする。また、マグロは釣れると枝縄を手で引っ張る手釣りなので大変である。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 食事、揚げ縄後の談話。
- * 時化休みのDVD鑑賞。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 仲間が出来たこと。皆でランニングや遊泳したこと。
- * 海技士 (航海) 三級科目合格できたこと。

Q. 学園で学んだ (身に付けた) ことで、現場で役立っていることは？

- * マグロ縄の七本刺し (バックスプライス、アイスプライス) を使うので役立っている。

☆. 在校生へのアドバイス

- * マグロ船は、インドネシア人船員が多く、作業を教えてもらうので人付き合いが上手であること。
- * インドネシア語を少し勉強していくと好感を持ってもらえます。
- * 「さしべえ」で幹縄を刺してつなげる作業を練習しておいた方が良い。
- * 枝縄たぐり、縄のもつれを解く作業は多いので練習しておいた方が良い。

(平成29年9月11日)